

相談場所が
変わりました!

一人で悩まないで…「女性生活相談」へ相談してみませんか?

村では、結婚・離婚などの家庭問題や、配偶者からの暴力(DV)、職場でのセクハラなど、女性が抱える生活全般の悩みについて、専門の相談員が無料で相談(電話相談・面接相談)に応じています。秘密は厳守されますので、一人で悩まずに、お気軽にご相談ください。

期日▼火・水・金曜日(祝日、年末年始を除く)

時間▼▽午前9時30分～正午 ▽午後1時～3時30分

場所▼なごみ・総合支援センター

その他▼面接相談を希望する方は、事前に申し込みが必要です。

申し込み・問い合わせ▼総合相談支援課相談支援担当(なごみ・総合支援センター内 ☎287-2525)

DV相談^{プラス}

「DV相談^{プラス}」は、内閣府男女共同参画局が行うDV相談事業です。電話相談のほか、メールやチャットでも相談を受け付けています。

●電話での相談は…

☎0120-279-889 (24時間受け付け)

●メール・チャットでの相談は…

<https://soudanplus.jp>

こちらから相談できます



スマートフォンの方はこちらから▶



ふるさと歴訪
〜自然を探して〜

スカシユリの遺伝子解析

初夏の海岸を鮮やかに彩り、「東海村の花」としてなじみ深いスカシユリですが、村では自生地が激減しており、絶滅が危惧される植物でもあります。このため、村では平成29年度より「村花スカシユリ増殖事業」を続けています。増殖事業では「スカシユリ故郷がえり運動」として、村内のスカシユリ自生地から種子を採集し、これをプラランターで栽培してそのスカシユリの種子を発芽させ、成長した小さな球根を村内の生育適地に移植し、新たな自生地を作る試みを行っています。

このような活動で重要なことは、東海村にもともと自生するスカシユリを栽培し、野外に移植することです。古くから園芸植物として親しまれてきたスカシユリには、人の手によって作り出されたさまざまな品種が存在します。また、村外から持ち込まれ、植えられた可能性のあるスカシユリも村内各所に見られます。このような、村内に本来存在していなかった集団を自然界で増殖させてしまうと、自生するスカシユリ



【村内の海岸に自生するスカシユリ】

りや、野生のスカシユリとは遠縁の園芸品種も存在することが明確になりました。今回の解析から、村内に自生するスカシユリを確実に識別することができました。これにより、遺伝子汚染の可能性を防ぎ、村の海岸に自然に生育するスカシユリの増殖に取り組むことができると考えています。

との交雑を招き、「遺伝子汚染」につながります。しかし、自生するスカシユリと、村外から持ち込まれたものや園芸品種とを、見た目だけで正確に識別することは困難です。そこで私たちは、村の海岸に生育するスカシユリや、村内各地に植えられているスカシユリの遺伝子と、日本各地に自生するスカシユリの遺伝子を解析し、類縁関係を調査しました。その結果、村の海岸に自生するスカシユリは、ひたなか市や神栖市に自生する集団と近縁であることが明らかとなりました。一方、村内には、房総半島から持ち込まれ、移植されたと推定されるスカシユリや、野生のスカシユリとは遠縁の園芸品種も存在することが明確になりました。

慶應義塾大学准教授

糟谷 大河